

みづき

大垣女子短期大学通信
mizuki



Summer
2010

同窓会通信 夏
臨時創刊

CONTENTS

| | | | | | |
|------------------------------------|---|------------------|---|-------------------|---|
| CLOSE UP | 1 | 同窓会新役員のご紹介 | 2 | デザイン美術科 | 6 |
| 40周年不惑の年を迎えて… | 1 | 幼児教育科 | 3 | 本学各種イベント・行事 | 7 |
| 飛躍する大垣女子短期大学 | 2 | 歯科衛生科 | 4 | オープンキャンパス日程 | 8 |
| これからの短期大学に求められる 学びづくりに向けて | 2 | 音楽総合科 | 5 | 平成23年度入試日程 | 8 |

CLOSE UP 新装になった 講堂での入学式

平成 22 年度に同窓会と大垣市から多額の寄付をいただいたて改修工事を実施した講堂において、初めての入学式を挙行いたしました。改修を記念して「みづきホール」と命名され、ホール内の客席はゆったりとスペースをとり、なだらかな傾斜をもたせ 500 席（改修前は約 900 席）を配置しました。ステージも約 1.5 倍の広さに拡張し、様々なイベントに活用されています。地域の皆様にも各種行事等で利用していただいている。大学祭や子ども祭でもとても好評でした。皆様もぜひご訪問下さい。



CLOSE UP 「おにごっこ運動」 県内各地で取り組む

「おにごっこ」を保育・教育活動に取り入れた取組を展開しています。本学では、幼児教育科を中心とした事業として、子どもたちの文化として継承されている「おにごっこ」をさらに発展させて、保育・教育活動に位置付けて活動しています。年に2回ほど地域の親子に参加を呼びかけ、年少の幼児から小学生までが楽しめるイベントになっています。徐々に保育所・幼稚園でも取り組んでいただいており、本学から全国に「おにごっこ」の魅力を発信していくと考えています。保育所・幼稚園の現場で活躍中の皆様、ぜひ取り組んでみて下さい。

40周年不惑の年を迎えて…

大垣女子短期大学同窓会 会長 北村 君子

卒業生の皆様にはお元気で多方面にご活躍のことと存じます。今年は特に猛暑による熱中症や、ゲリラ豪雨による災害などで悲しい思いをされている方々の報道を聞くにつけ心を痛めております。

さて、母校も昨年創立40周年を迎え、2万3千名を超す同窓生が日本各地で活躍されています。最近の卒業生の中には、デザイン美術科マンガコースに学び、漫画家として活躍するなかでその作品が映画化された方も出ています。

全国で、またそれぞれの地域で本学の同窓生が活躍されているニュースに接すると心が躍るものがあります。

40周年記念事業として、講堂（「みづきホール」と命名）の改修工事が計画された際には同窓会より寄付をさせていただき、工事完了の

折には母校から感謝状をいただくとともに、感謝の気持ちを込めたプレートを入口に設置していただきました。その時に本部役員の皆さんと一緒に、記念コンサートに参加させていただき、音楽総合科ウインドアンサンブルと二胡との素晴らしいジョイントコンサートに感動いたしました。聴きやすく見やすくなったみづきホールがこれからも学生や市民の皆さんに一層ご利用いただければ同窓会としてもうれしく思います。

今回、大学側から、奨学金を充実させたいとの要望があり、会員の皆様に寄付を募るご提案がありました。現在の不況の折、皆様には経済的に何かとご都合もおありかと存じます。将来を担う勉学に意欲をもった本学の学生たちを、少しでも支援したいとの思いから、今回寄付の募集についてのお願いを同封いたしており

ます。大学の奨学金制度充実のため、ぜひ皆様方からのご支援をお願いしたいと存じます。

全国の短期大学が学生定員割れを起こし、経営が困難になっていくなか、皆様のご支援により、大垣女子短期大学の平成22年度入学生は定員を確保することができました。同窓生ファミリー入試も志願が増え、年々充実してきているようです。一方、子どもを進学させたくても経済的に困難な状況にあり進路を変更せざるを得ないご家庭も多いと聞きます。そういう大変な時代だからこそ修学支援の体制も充実させる必要があります。同窓会の皆様とのスクラムをより強固にし、母校の存続、発展を祈りたいと思います。

最後になりましたが、皆様方のご健勝、ご多幸とご活躍をお祈り申し上げます。



飛躍する大垣女子短期大学

学長 中野 哲



卒業生の皆様、健やかにお過ごしのこと大変嬉しく思います。

皆様のご活躍の情報に接するとき、私たちも頑張らなくてはと思います。本学は昨年開学40周年を迎え、記念事業として講堂をリフレッシュし、みづきホールと命名しました。その際には同窓会より多額の寄付をいただき、誠にありがとうございました。学生にはもちろん、広く一般市民の方々にも利用していただけるよう開放しています。また学生の作品を展示するギャラリーみづきも常に展示企画が絶えません。卒業生の皆様にはぜひ一度機会を作つていただき、若木を意味する「みづき」が溢れる本学を訪ねてみて下さい。元気一杯の溌剌とした学生たち、自然いっぱいのキャンパスが皆様を喜んでお迎えするでしょう。

本学では、徳・知・体のバランスを考え、環境を重視し、社会に貢献できる学生中心の教育を日々考え実践しています。教職員は自己研鑽を積み、さらに飛躍しようと努力を続けています。

歯科衛生科、幼児教育科は教育課程を3年制に改編し、複雑化、多様化して

いる社会に即戦力として対応できる人材を輩出しています。音楽総合科は全国でも珍しいリペアコースを新設し、デザイン美術科の出身者のマンガ作家は今や20人を超えるまでになっています。

本学は建学の精神に謳われている社会的教養を育む女性教育推進のために全学科において様々な機会を捉え盛んに交流を図っています。また一般社会との接触をさらに深め、地域社会に貢献できる「自律性を持った品性的備わった女性教育」を目指してさらに飛躍しようとしています。

こうして本学では変貌する時代や社会からの要請をより良く的確に把握し、対応できる教育、指導体制を展開できるようと本年度からキャリアセンターを学内に配し、学生のきめ細やかな進路指導にあたっています。

これからも時代は常に変化していきます。変わらないのは脈々と受け継がれている本学の建学の精神です。学生たちは変化、進化していくなければなりません。大垣女子短期大学は今後も伝統を守り真髄を維持しながらさらに前進していきます。

これからの短期大学に求められる 学びづくりに向けて

総合教育センターは高等教育の再構築が求められている中で、短期大学としての本学における学びとそのあり方や支援について考え、社会変化に対応した今後の短期高等教育のあり方とも結びつけながら、全学の教養教育と各学科の専門教育に対する総合的な支援を行っています。

本年度の具体的な活動や取組としては、入学前教育や教養教育のあり方について検討して新入生への基礎教養テストを作成するとともに、はじめての全学科統一の初年次教育を4月に実施しました。

また平成20年度に文部科学省から教育GP(グッド・プラクティス:質の高い大学教育推進プログラム)として選定された「地域の子育て施策を活用した教育方法の改善」について、全学での取組を推進しています。この教育GPについては、本年12月4日(土)にフォーラムを開催して3年間のまとめと取組の継続に関する報告を行う予定です。

さらに、教員の授業内容や教育方法などの改善・向上を目的とした組織的な取組であるFD(ファカルティ・ディベロメント)活動を推進しています。こ

総合教育センター センター長 矢田貝 真一

の活動の一環として、昨年末に実施した学生への教育環境調査について、詳細な分析の上に実態および改善課題を報告しました。これとともに学生による授業評価を実施して、その結果やまとめを公表することで教育改善を進めていく活動にも取り組んでいます。

他にも、本学の詳細な教育目標や学生の学修における到達目標を明らかにしていく「見える化プロジェクト」の取組や社会を学びの場としながら地域に貢献していくための取組、卒業生のみなさまや地域の方々の力を借りた学びの場づくりなどに取り組んでいこうとしています。

このように、これからの社会に求められる人材を確実に育てていく短期大学づくりを進めるために、各学科や関係委員会などと緊密に連携しながら本学教育の質保証に努め、確実な短期大学士力の育成を図っていきたいと考えています。こうした総合教育センターの目的や活動につきまして、みなさま方にご理解をいただき、ご支援とご協力をたまわりますよう、よろしくお願いいたします。

同窓会新役員のご紹介

任期: 平成22年4月1日～平成25年3月31日

| 役職 | 氏名 | 学科 | 卒業年度 |
|------|---------|----------|--------|
| 会長 | 北村 君子 | 幼児教育科第三部 | 昭和50年度 |
| 副会長 | 落合 圭菜条 | 幼児教育科第一部 | 平成9年度 |
| 副会長 | 日比野 亜沙美 | 音楽科 | 平成3年度 |
| 副会長 | 疋田 知鶴子 | デザイン美術科 | 平成3年度 |
| 副会長 | 関谷 智子 | 保健科第一部 | 昭和52年度 |
| 書記 | 長野 佳子 | 国際教養科 | 平成9年度 |
| 書記 | 小野谷 きよ | 幼児教育科第三部 | 昭和49年度 |
| 会計 | 青木 真弓 | 保健科第三部 | 昭和57年度 |
| 役員 | 坂 光都枝 | 幼児教育科第一部 | 平成9年度 |
| 役員 | 草次 梨恵 | 音楽科 | 平成11年度 |
| 役員 | 桑原 裕美子 | デザイン美術科 | 平成13年度 |
| 役員 | 富田 美由紀 | 歯科衛生科第一部 | 平成13年度 |
| 役員 | 白須 明美 | 保健科第三部 | 昭和61年度 |
| 役員 | 大野 里美 | 国際教養科 | 平成11年度 |
| 会計監査 | 杉山 里津子 | 保健科第一部 | 昭和55年度 |
| 会計監査 | 日比野 由香理 | 国際教養科 | 平成11年度 |



本年度第1回役員会(6月5日)にて

役員会は年に2.3回(その他必要に応じて)行っております。同窓会運営に関わる事項ならびに母校の発展のために同窓会が関わる事などについて話し合っています。

同窓会運営に関しての御意見がございましたらご一報ください。
よろしくお願いします。

※昨年まで同窓会役員を務めて頂いた七名の方々、
長い間誠にありがとうございました。

秋山 志奈子様、大橋 薫様、川瀬 由美子様、小山 淳子様、
林 京子様、古田 敦子様、吉田 裕子様



学長 中野 哲
事務局長 楠本 律男
幼児教育科学科長 有岡 登美
音楽総合科学科長 服部 篤典
デザイン美術科学科長 松本 英三
歯科衛生科学科長 石川 隆義



学生支援課課長 若村 宣彦
学生支援課(会計担当) 小松 由佳

幼児教育科 学科長教授 有岡 登美

卒業生の皆さん方におかれましては、各方面でご活躍のことと存じます。

幼児教育科が平成19年により社会に貢献できる保育のスペシャリストを養成するため全国でも少ない教育課程を2年制から3年制に移行したことは、既にご存知のことと思われます。保育園や幼稚園での実践的な実務能力を養う実務研修や子育て支援演習など特色のある教育に加え、本年度からは音楽・造形・総合の3つの専修クラスを設け、高度な保育技術の修得を目指せるようになり、少人数制で確実な学びと保育者としての職業意識を持つた学生の育成に努めています。

このところオープンキャンパスの参加者の中に娘さんを連れた卒業生の姿がよく見られるようになりました。それも大垣市近辺だけでなく、全国各地から来られています。

本学も開学40周年を超え、全国に2万3千人の卒業生を数えます。

学生数が多く、3部もあった頃を知っている教員も少なくなりましたが、『私は卒業生です』と名乗られてからは昔話に花が咲きます。どんな教員がいたか、その頃の校舎は、どんな学生生活だったかなどなど。

ご自身の学生時代の大切な思い出とともに娘さんにも同じ短大をと薦めてくださる卒業

生の思いを十分に受け止め、一人ひとりの学生の学びを大切にするとともに充実した学生生活になるようサポートに教員一同、心していきたいと思っています。



卒業生からの便り



1

勝野 絵未那さん
幼稚教育科平成21年度卒業
木の花保育園勤務

娘

◆同窓生ファミリー入試で入学して良かったと思うことは?

母の母校へ入学し「私も母のように頑張ろう」と思いました。また、当時の短大生活の様子を聞いていたり、助言して貰うことができたのでとても心強く、それを励みにして実習などに挑むことができました。

勝野 智代美さん
昭和59年度卒業
市橋保育園勤務

◆在学中の思い出は?

短大の2年間は本当にあつという間でしたが充実していました。恩師に恵まれたこと、施設実習が大変だったことや音楽の授業が一番好きだったこと。とても楽しい青春時代でした。

◆娘さんに幼児教育科入学を薦めたのは?

小さい頃から親の仕事を見てきた娘が、自分と同じ職を志すと決めた時はとても嬉しかったです。大変だけやりがいのある仕事を理解してもらおうと思い、幼児教育科を薦めました。

◆同窓生ファミリー入試で入学して良かったと思うことは?

私が在学している時にお世話をした恩師に親子共々指導していただくことができました。また娘の勉学に対する悩みや楽しみを聞き、アドバイスができたことは親子にとって利点であったと思います。

2

木野 章代さん
昭和57年度卒業
コアシ測量設計事務所

母

◆在学中の思い出は?

保母さんになりたいという夢を持ちながらピアノを習っていなかったので不安でしたが、先生が丁寧にレベルに合わせて指導して下さったのでよかったです。

◆娘さんに幼児教育科入学を薦めたのは?

高校在学中は理系で学んでいたため、保育士になりたいと相談してきたときはびっくりしました。自分が卒業した学校ならば信頼でき安心してお願いできると思いました。

◆同窓生ファミリー入試で入学して良かったと思うことは?

保育士になりたいという気持ちに応えてあげたいと思いながらも学費のことが不安でした。しかし、同窓会奨学金を利用させていただくことにより、進学でき、親子で喜んでいます。

木野 舞さん
幼稚教育科
3年生在学中

娘

◆同窓生ファミリー入試で入学して良かったと思うことは?

入学する前から母にいろいろ話を聞き、大学の様子を知ることができたので、安心して大学にいくことができました。

3

中野 里香さん
幼稚教育科
1年生在学中

娘

◆同窓生ファミリー入試で入学して良かったと思うことは?

母から昔の大学の話を聞いたり、今の大での話をしたりと共通の話題を持てることが良かったと思っています。

中野 芳子さん
昭和59年度卒業
中野接骨院勤務

◆在学中の思い出は?

娘にもよく話をするのですが、保育実習の時の実習ノートがうまく描けなくて初日にやり直しを言われたときはちょっとショックでした。その後頑張って書いたことをなつかしく思い出します。

◆娘さんに幼児教育科入学を薦めたのは?

美容師か保育士かと悩んでいましたが、高校での実習で実際に子どもたちと接したり勉強していくなかで、本人も将来の目標を持ってきたので最終的には本人の意思で決めました。

◆同窓生ファミリー入試で入学して良かったと思うことは?

ガイダンスから一緒に参加でき、色々な学習内容を聞くことができました。どの資格を将来役に立たせたいのかなどをこれから先のことを色々と話し合えて良かったと思います。

4

西 ゆかりさん
昭和62年度卒業
大阪府在住

母

◆在学中の思い出は?

働きながら通学だったので、いつも眠い毎日でした。会社の仕事でいろいろあって学校でみんなに話を聞いてもらい、元気を取り戻して頑張れたことが思い出です。

◆娘さんに幼児教育科入学を薦めたのは?

小さいときから保育園の先生になりたいと言って、赤ちゃんの妹をころがしながらオムツを替えてくれていました。いろんな人と知り合って広い考え方ができる人になってもらいたかったからです。

◆同窓生ファミリー入試で入学して良かったと思うことは?

とにかく家から出るので学校でのこと以前に生活が心配でした。全てを完璧にこなそうと無理してしまうので、せめて学校でのことだけでも私の経験から相談にのれることがあります。良いと思います。

西 恵里奈さん
幼稚教育科
1年生在学中

娘

◆同窓生ファミリー入試で入学して良かったと思うことは?

私が自分で決めて入学しても、やはり家を出る不安や初めての下宿生活などたくさん心配ごとがありますが、いつも母が一番の理解者になって支えてくれるので、辛いことでも頑張れるんだと思います。



研修がてら、母校をのぞいてみませんか？

卒後研修として、音楽総合科とのジョイント講座開催のお知らせです。

口腔機能は、食べるだけでなくコミュニケーション、社会参加をするために欠かせない機能です。障がいのある方や高齢者だけでなく、生活の質を維持、向上させるためにすべての人に必要なこ

とです。単調な訓練も歌や楽器の演奏を使うと、頭の刺激にもなり訓練も楽しくでき、音楽がとても役立つことが実感できると思います。講師は、岐阜県（東濃地区）で大活躍されている先生方です。ぜひこの機会にお友達と説明あわせて、ご参加下さい。

◆内容テーマ 「音楽療法で口腔機能向上」

歯科衛生士と音楽療法士がコラボレーションする楽しい講座の開催

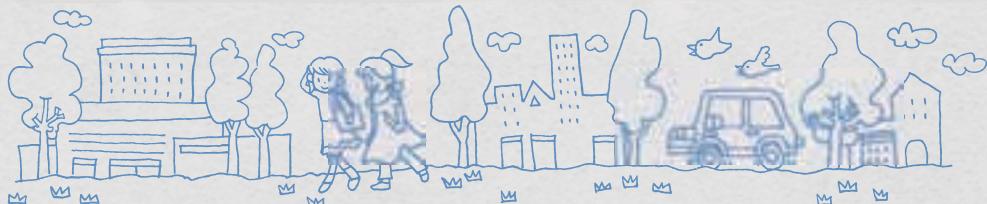
◆日程：平成22年10月31日（日）13:30～15:30

◆講師：加藤恵子（音楽療法士）栗木みゆき（訪問歯科衛生士）

◆場所：大垣女子短期大学 みづきホール

◆定員：特に定めず

◆申込：申し込み不要



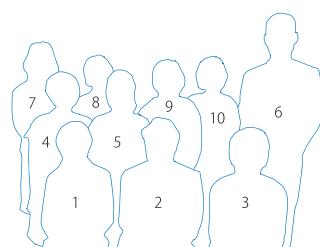
新しい教員も加わり、パワーアップ！！

現在歯科衛生士は歯科領域を超えて、一般入院病棟や緩和ケア病棟での医科領域での口腔ケアや介護・福祉現場での口腔ケアが求められており、多職種の方とのチーム医療ができる人材養成に努めています。

さらに、歯科保健医療ニーズの変化および技術の進歩に伴い、水準の高い業務実践に対応した歯科衛生士を育成するため、日本歯科衛生士会をはじめ歯科の各専門学会において、専門・認定歯科衛生士制度が発足しています。

卒業後にこれらの認定歯科衛生士の交付取得を目指すモチベーションの高い歯科衛生士を、できるだけ多く輩出できるように支援したいとも考えております。

- 1.畔地美紀・2.石川隆義・3.岩田千鶴子
4.三田智子・5.村越由季子・6.佐久間英規
7.水嶋広美・8.阿尾敦子・9.久本たき子
10.関谷智子（敬称略）



本学の卒業生であり、歯科衛生士教育にご尽力いただいた、池田真理先生と市橋由夏先生が、出産、結婚のため3月末に退職されました。

ありがとうございました。



将来、歯科衛生士を目指そうと思われているご息女、知人の高校生・社会人の方がいらっしゃいましたら、是非本学の歯科衛生科をご推薦、

ご紹介して下されば幸いです。今後とも、同窓の皆様からのご指導の程をよろしくお願い致します。

学科長教授 石川隆義

募集

「歯科衛生科の
同窓生を増やし隊」

お知り合いの方や、母校（高校）に行って本学歯科衛生科をアピールしていただけの方は、資料を送付させていただきますので、下記までメールにてご連絡下さい。
E-mail :sekiya@ogaki-tandai.ac.jp

新しいコース(リペア)が始まりました!

音楽総合科 学科長 服部篤典

音楽総合科は、ピアノ・電子オルガン、ウインドアンサンブル、リペア、音楽療法の4コースそれぞれが学外演奏、施設におけるボランティアなど地域活動を積極的に行ってています。こういった活動が、学生にとって専門技術向上、就労意欲向上に大きな意味を成していると考えております。

また、今年度より成績評価に関して厳しい姿勢で臨んでおります。「欠席が4回までなら単位は出る」「試験結果が悪くても何とかなる」

などの声を学生からよく耳にしていました。卒業後のことを考えると、成績評価の厳格化は必要であるとの結論に達しました。「原則欠席はしない(病気などは除く)」「定期試験において到達点まで達していないければ単位は認めない」「授業態度を厳しくチェック」などを全教員に徹底しました。

今後も学生にとって良いと思われることは、どんどん進めていきたいと考えております。



音楽総合科・今後の行事

定期演奏会

10月3日(日) 13:30開演

会場: 大垣市スイトピアセンター音楽堂

第16回 ウィンド アンサンブルフェスティバル

平成23年1月16日(日) 13:30開演

会場: 大垣市民会館

卒業演奏会

平成23年2月11日(金・祝) 13:30開演

会場: 大垣市スイトピアセンター音楽堂

Course TOPICS

1.

ピアノ・電子オルガンコース

ピアノ・電子オルガンコースでは、5月23日(日)に学外研修として、1・2年次生全員で演奏会鑑賞に出掛け、それぞれ感動と刺激を受け、更なる音楽への意欲を抱いたようでした。また、例年に引き続き、大垣センチュリーロータリークラブの青少年特別行事コンサートではピアノ演奏を行い、7月3日(土)にはアカアワーカー大垣での学習成果発表会では電子オルガン演奏をするなど、学外での活動も行っています。

2.

ウィンドアンサンブルコース・リペアコース

ウィンドアンサンブルコース・リペアコースでは年間40回以上の演奏会を行っています。今年度前期には大垣市内の小学校など音楽鑑賞会を7公演行い、児童の皆さんに音楽を楽しんでいただきました。演奏だけではなく楽器体験や指揮者体験もしていただき、実際に音楽に触れてもらうことが出来ました。来年1月16日には大垣市民会館にて第16回定期演奏会を予定していますので、是非ウィンドアンサンブルの演奏を聴きに来てください。

3.

音楽療法コース

今年度より、早い時期から現場の実情を理解するために1・2年生合同で施設に訪問する機会を試しに設けました。先輩が臆せず高齢者に積極的に関わっている様子を見て、1年生たちは良い刺激を受けていました。この他にも授業内で特別養護老人ホーム、精神科デイケアで実習を行いました。授業以外にも学外施設のボランティア依頼も増えており、定期的にデイサービスに学生有志グループが出向いて音楽活動を行っています。





同窓生の皆さまへ ~開科40年を経て~

デザイン美術科 学科長教授 松本 英三

今年度、学科第40期生を迎えました。「美術科」から始まって40年、学生一人ひとりの軌跡が糸となり、織りなされる布のように学科の歴史は連なっているものと思います。平成元年に赴任しました私にとって、昭和の頃の学生と学科の様子は、当時いらっしゃった鈴木先生、高橋先生（今も非常勤で来て頂いてます）から断片的にではありますが伝え聞いて居ります。

時がたてば過去の出来事は、また異なる味わいとなります。一層酸くなる記憶もあるかもしれません、誰しも苦しみながら自身の力で成長した青年期の充足を認めて頂きたいと思います。年々遠ざかるものでありながら、学生時代は意識の中では案外反比例するよう近付いて来るものかも知れません。卒業式の日には、（皆、いい人生を送ってくれよなー）と心に思うのが教員です。学友や教職員と出会えたのも縁でしょう。何ごとも良しとして、青空を仰ぐ気持ちを忘れずに抱いて下さい。

40年の間には幾度も学生数の起伏があり、特に近年は一様な安定状況にあると言えないので実情です。18歳人口の減少、「美術」への関心、他校との競合など、難しい問題が尽きません。平成4年から21年の間、募集定員を80名としていましたが、本年より再び50名としました。美術系短大は今や全国でも多くはあります。

ません。その中で本科は「美術」の骨格を見失うことなく、発展的継続を模索しています。

学生は誰しも個別の魅力を持っています。私ども教員という仕事が続く大きな要因には、その輝きに触れる喜びがあるからだと思います。昭和の頃の本学は四囲が田んぼだったのではないかでしょうか。大学前の道が拡幅されたり、校舎の改装、建て替え等はありましたが、今ものどかであるには変わりません。都市部の学校とは違う、本科本学を包む自然と人が醸し出す空気を私は好みます。2千名を超す同窓生と代々の教員、職員が引き継ぎ、培ってきたものは、しっかりと根付いています。

経験を積んだ教員のもと、学生の眼を見つめる親身な教育を学科のモットーに掲げています。本科発展のために、ご助言また学生募集へのご喧伝をよろしくお願い致します。

平成23年度 募集コース案内

マンガ
コース
ストーリー
マンガ専攻

マンガ
コース
基礎マンガ専攻

コミック
デザイン
コース

アート
アニメーション
コース

デザイン
コース

造形
コース

平成21年 10/3
「学外研修」古美術実地研修（奈良県・長谷寺、室生寺）



平成21年 11/18
「総合教養演習」美術館研修（岐阜県美術館／企画展の観賞）



学 科 行 事

(平成21年度後期～22年度)

平成22年 1/7
「総合教養演習」（本学／朗読と馬頭琴演奏観賞）



平成22年 2/9～14
第38回卒業記念展
(岐阜県美術館)



平成22年 4/29
「学外研修」滋賀県立近代美術館
(企画展観賞)、金剛輪寺

平成22年 9/1・2
「学外研修」スケッチ旅行（三重県・大王崎）

平成22年 9/6・7
「学外研修」マンガ原稿出版社へ持ち込み（東京）

平成23年 2/8～13
第39回卒業記念展
(岐阜県美術館)

在校生 研究生の 受賞 (判明分)

- 月刊 プレコミックブンブン「ブンブンまんが大賞」 奨励賞
- コミックブレイド 月例賞(2名)
- コミックアヴァルス 1月号月例賞
- 週間 少年マガジン 3月期マガジングランプリ 佳作賞
- 月刊 少年ライバル 6月号・11月号月例新人賞 奨励賞
- アニメまつり2009 inかかみがはら アニメコンテスト入賞(4名)
- 木枠アイデア発表会(最優秀賞、優秀賞)
- 中山道赤坂宿「家康イメージコンペ」 最優秀賞

卒業生の活躍



入手情報が断片的ですので、
詳細は省きます。
マンガ賞受賞、
マンガ雑誌掲載、
コミック本出版、
個展・作品発表
多数

これからの 本学各種イベント・行事

平成22年度

公開講座・公開授業

「音楽療法入門」(公開授業)

日程 9月29日(水)
10月6日(水)全2回 9:00~
講師 小西文子先生

「マンガ楽描(らくがき)講座」

日程 10月30日(土) 10:30~
講師 篠田英男先生
場所 JR岐阜駅 アクティブGにて

「親子で楽しむ」

日程 11月21日(日)~12月12日(日)
全3回 10:00~
講師 日比千穂先生・光井恵子先生
有岡登美先生

リカレント教育講座

「子どもの絵と心理」

日程 10月31日(日) 10:00~
担当 幼児教育科

「音楽療法で口腔機能向上」

日程 10月31日(日) 13:30~
担当 音楽総合科・歯科衛生科

卒後教育として現場で活躍の方、将来就職を予定されている方等を対象として開催します。現在の知識・技能をご確認いただけるチャンスです。
ぜひお申込み下さい。

フォーラム

質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)報告会

日程 12月4日(土) 13:00~

平成20年度に文部科学省から選定を受けた取組のまとめの発表会です。3カ年にわたり全学を挙げて体験学習を通じ教育方法の改善を図った取り組みです。教育効果が上がった事項、課題として今後継続し取り組むべき事項など発表いたします。
ぜひご参加下さい。

演奏会・作品展等のイベント

みずつきーと遊ぶ 「おにごっこ」



日程 10月3日(日)
10:00~

みづき祭(大学祭)

日程 10月23日(土)
10:00~

デザイン美術科卒業記念展

日程 2011年2月8日(火)~13日(日)
場所 岐阜県美術館にて

音楽総合科定期演奏会

日程 10月3日(日) 13:30~
場所 大垣市スイトピアセンターにて

ウインドアンサンブル定期演奏会

日程 2011年1月16日(日) 13:30~
場所 大垣市民会館にて

音楽総合科卒業演奏会

日程 2011年2月11日(金・祝) 13:30~
場所 大垣市スイトピアセンターにて

大垣十万石ふる里まつり

日程 10月10日(日)
場所 大垣駅前通りにて

こども祭

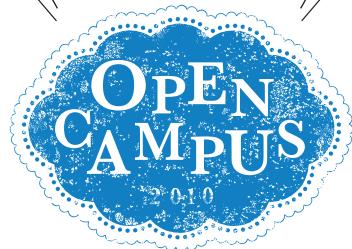
日程 2011年1月23日(日)
10:00~



いずれも学生たちが専門性を高めた取組の総決算の行事です。学生たちの活動をぜひご覧ください。

場所 大垣女子短期大学 (会場の記載がないものは本学です)

問合先 大垣女子短期大学 生涯学習係 ☎0584-81-6889 (直通)



平成22年度 オープンキャンパス開催日程

9/11
(土)

9/25
(土)

10/3
(日)

10/23
(土)

12/12
(日)

みすき祭と
同時開催

詳細等お問い合わせ先：教務・広報課 電話 0584-81-6819(直通)

平成23年度入試 日程

| 入試区分 | | 願書受付期間 | 試験日 | 合格発表日 |
|--------|---------------------|-------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 推薦入試 | 指定校推薦入試 | 普通科推薦 | 専願 | 平成22年 10月12日(火)～11月1日(月) |
| | | 専門学科・総合学科推薦 | 専願 | |
| | 推薦入試第一次 特別奨学生選抜会 | 公募推薦 | 専願・併願 | |
| | | 専門学科・総合学科推薦 | 専願・併願 | |
| | | 自己推薦 | 専願 | |
| | 推薦入試第二次 | 公募推薦 | 専願・併願 | 平成22年 11月15日(月)～12月1日(水) |
| | | 専門学科・総合学科推薦 | 専願・併願 | |
| | | 自己推薦 | 専願 | |
| 一般入試 | 一般入試第一次 特別奨学生選抜会 | 併願 | 平成23年 1月11日(火)～25日(火) | 平成23年 1月30日(日) |
| | 一般入試第二次 | 併願 | 平成23年 2月2日(水)～14日(月) | 平成23年 2月16日(水) |
| | 一般入試第三次 | 併願 | 平成23年 3月1日(火)～11日(金) | 平成23年 3月16日(水) |
| 特別選抜入試 | 同窓生ファミリー入試 ※ | 専願 | 平成22年 10月12日(火)～11月1日(月) | 平成22年 11月7日(日) |
| | 社会人入試第一次 | 併願 | 平成22年 11月15日(月)～12月1日(水) | 平成22年 12月5日(日) |
| | 社会人入試第二次 | 併願 | 平成23年 1月11日(火)～25日(火) | 平成23年 1月30日(日) |
| | 社会人入試第三次 | 併願 | 平成23年 3月1日(火)～11日(金) | 平成23年 3月16日(水) |
| | 外国人留学生入試 | 併願 | 平成23年 1月11日(火)～25日(火) | 平成23年 1月30日(日) |
| | 海外帰国子女入試 | 併願 | | 平成23年 2月3日(木) |

入学検定料30,000円(同窓生ファミリー入試を除く)

※同窓生ファミリー入試とは、本学同窓生(在学生含む)の子女・姉妹を対象とした入試です。(入学検定料20,000円)

本学同窓生(在学生を含む)の子女・姉妹および本学卒業生が入学した場合、「同窓生ファミリー奨学金」として入学後10万円を給付します。(全入試区分対象)
オープンキャンパス及び入学試験につきましては教務・広報課までお問い合わせください。

教務・広報課 TEL 0584-81-6819(直通)

大垣女子短期大学 岐阜県大垣市西之川町1-109 TEL.(0584) 81-6811(代) FAX.(0584) 81-6818 <http://www.ogaki-tandai.ac.jp>
Ogaki Women's College 【学科構成】幼児教育科・歯科衛生科・音楽総合科・デザイン美術科



マスコットキャラクター
みすきー

◆(財)短期大学基準
協会による第三者評
価が始まった初年度
の平成17年度、全て
の評価領域において
「適格」認定。



◆平成19年度、全
ての校舎、耐震補
強完了。



◆平成14年度から
学内外全面禁煙。

平成20年度 文部科学省 教育GP
Q
大垣女子短期大学

地域の子育て施策を活用した
教育方法の改善

◆大垣女子短期大
学の教育活動が平
成20年度文部科学
省選定の「質の高い
大学教育推進プロ
グラム(教育GP)」に
選ばれました。

みすき 2010夏号
臨時増刊
発行日／平成22年9月10日
編集／広報委員会
発行／大垣女子短期大学
E-mail tosho@ogaki-tandai.ac.jp